

## 【2】薬効類似に関するヒヤリ・ハット

平成21年4月1日から同年12月31日までに報告されたヒヤリ・ハット事例のうち、事例の内容が「薬剤取違い」として報告された事例は、181件であった。そのうち事例の内容が明らかに「薬剤取違い」とは異なる10件を除いた171件を分析対象とした。

そこで、薬効が類似している医薬品を集計した。具体的には、販売名の個別医薬品コード（YJコード）の先頭4桁以上が一致している医薬品を集計したところ、該当する医薬品は103件であった。

具体的な医薬品の名称及び主たる薬効<sup>(注)</sup>は以下の通り。

### 1) 個別医薬品コードにおいて、先頭4桁から6桁が一致している医薬品 (ただし、先頭7桁が一致している薬剤を除く。)

処方された医薬品	間違えた医薬品
ベンゾジアゼピン系製剤	
アルプラザラム錠0.4mg「トーワ」	スカルナーゼ錠1mg
その他の催眠鎮静剤、抗不安剤	
ゾピクール錠10	マイスリー錠10mg
その他の解熱鎮痛消炎剤	
ロキソニン錠	ソレトン錠80
イミプラミン系製剤	
アナフラニール錠10mg (ハイリスク薬)	トフラニール錠10mg (ハイリスク薬)
その他の精神神経用剤	
テトラミド錠10mg (ハイリスク薬)	デパス錠0.5mg (ハイリスク薬)
ジェイゾロフト錠25mg (ハイリスク薬)	トレドミン錠25mg (ハイリスク薬)
その他の眼科用剤	
カリーユニ点眼液0.005%	ヒアレイン点眼液0.1%
ヒアレイン点眼液0.1%	プロラノン点眼液0.1%
ヒアレイン点眼液0.1%	カリーユニ点眼液0.005%
タリビット眼軟膏0.3%	クラビット点眼液0.5%
ニフラン点眼液0.1%	カリーユニ点眼液0.005%
タプロス点眼液0.0015%	ルミガン点眼液0.03%
その他の耳鼻科用剤	
リボスチン点鼻液0.025mg/1.1.2噴霧用	アルロイヤーネーザル
その他の利尿剤	
ルブラック錠4mg	ダイアート錠30mg

注：「主たる薬効」は、その医薬品が対応する個別医薬品コード先頭4桁の医薬品分類を示す。

処方された医薬品	間違えた医薬品
その他の血圧降下剤	
アテレック錠10	アーチスト錠10mg
ディオバン錠40mg	ミカルデイス錠40mg
ミカルデイス錠40mg	ニューロタン錠50mg
ミカルデイス錠40mg	ディオバン錠40mg
その他の高脂血症用剤	
リピトール錠5mg	ローコール錠20mg
リピトール錠10mg	プラバチン錠10
コデイン系製剤（家庭麻薬）	
リン酸ジヒドロコデイン散1%「フソー」	リン酸コデイン散1%「フソー」
H2遮断剤	
ストガー錠10	ガスポート錠20mg
他に分類されない消化器官用薬	
ナウゼリン錠10	プリンペラン錠5
オラドールSトローチ0.5mg	SPトローチ明治
すい臓ホルモン剤	
ランタス注ソロスター （ハイリスク薬）	アピドラ注ソロスター （ハイリスク薬）
その他の痔疾用剤	
プロクトセディル軟膏	強力ポステリザン（軟膏）
ボラザG軟膏	強力ポステリザン（軟膏）
副腎皮質ホルモン製剤	
デルモベートスカルプローション0.05%	メサデルムローション0.1%
ロコイド軟膏0.1%	アンテベート軟膏0.05%
メサデルムクリーム0.1%	レダコートクリーム0.1%
アンテベート軟膏	デルモベート軟膏0.05%
その他の鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	
亜鉛華軟膏「ヨシダ」	亜鉛華（10%）単軟膏「ニッコー」
インテバン外用液1%	ナパゲルンローション3%
モーラスパップ30mg	セルタッチパップ70
フェルナビオンパップ70	アドフィードパップ40mg
MS冷シップ「タイホウ」	MS温シップ「タイホウ」
他に分類されない血液・体液用薬	
プロレナール錠5μg	ドルナリン錠20μg

処方された医薬品	間違えた医薬品
その他の糖尿病用剤	
スターシス錠 90mg (ハイリスク薬)	ボグリボース錠 0.3mg 「SW」 (ハイリスク薬)
セイブル錠 50mg (ハイリスク薬)	ボグリボースOD錠 0.3mg 「サワイ」 (ハイリスク薬)
他に分類されないその他の代謝性医薬品	
ベネット錠 2.5mg	ボナロン錠 5mg
その他のアレルギー用薬	
アプラチン錠 20mg	アゼプチン錠 1mg
タリオン錠 10mg	クラリチン錠 10mg
漢方製剤	
ツムラ加味逍遙散エキス顆粒 (医療用)	ツムラ抑肝散エキス顆粒 (医療用)
ツムラ桂枝加芍薬湯エキス顆粒 (医療用)	ツムラ柴胡桂枝湯エキス顆粒 (医療用)
ツムラ五苓散エキス顆粒 (医療用)	ツムラ五淋散エキス顆粒 (医療用)
ツムラ柴胡桂枝湯エキス顆粒 (医療用)	ツムラ柴胡桂枝乾姜湯エキス顆粒 (医療用)
ツムラ芍薬甘草湯エキス顆粒 (医療用)	ツムラ桂枝加芍薬湯エキス顆粒 (医療用)
ツムラ小青竜湯エキス顆粒 (医療用)	ツムラ麦門冬湯エキス顆粒 (医療用)
ツムラ大建中湯エキス顆粒 (医療用)	ツムラ猪苓湯エキス顆粒 (医療用)
ツムラ八味地黄丸エキス顆粒 (医療用)	ツムラ麻子仁丸エキス顆粒 (医療用)
ツムラ半夏厚朴湯エキス顆粒 (医療用)	ツムラ黄連解毒湯エキス顆粒 (医療用)
ツムラ防己黄耆湯エキス顆粒 (医療用)	ツムラ麻杏よく甘湯エキス顆粒 (医療用)
ツムラ麻黄附子細辛湯エキス顆粒 (医療用)	ツムラ麻黄湯エキス顆粒 (医療用)

※表に掲載した医薬品の販売名は、各医薬品のYJコードで集計を行っているため、必ずしも「テキスト情報」で記載された医薬品の名称と一致しない場合がある。

※「漢方製剤」は他の医薬品と異なり、薬効が類似しない場合においてもYJコードの先頭4桁が同じ場合がある。

※「薬剤取違い」として報告があった事例のうち、販売名の頭文字（2文字または3文字）の一致で検索したものを名称類似、個別医薬品コードの先頭4桁の一致で検索したものを薬効類似としているため、名称類似、薬効類似の双方に抽出されている事例がある。

※「ハイリスク薬」とは、個々の生活環境や療養状況に応じた適切な服薬管理や服薬支援を行うことを必要とする、安全管理が必要な医薬品であり、平成21年11月に日本薬剤師会がまとめた「ハイリスク薬の薬学的管理指導に関する業務ガイドライン（第1版）」において、「Ⅱ. 投与時に特に注意が必要と考えられる以下の治療領域の薬剤」に列挙されている治療領域の薬剤を参考とした。

### 3) 薬局から報告があった主な改善策

#### (1) 手順の見直しに関するもの

- 薬歴の頭書きに記入するなど、たとえ調剤の時点で間違えても、鑑査で発見できるようにする。
- 投薬者は、薬品名を声に出しながら患者に確認・説明をする。「これは、漢方薬です。・・・」ではなく、「これは、漢方薬で、〇〇番の〇〇〇です。・・・」と、番号と販売名をしっかりと伝える。
- 患者本人による確認機能が発揮されるように、お薬手帳への記録行う。
- 作業が終了できるものは完了させるなど、並行して行わないようにする。
- 後発医薬品を調剤する時は、先発医薬品が何であるかを考えて調剤する。
- 投薬後のチェック体制を強化する。

#### (2) 確認方法の見直しに関するもの

- ピッキングする、または分包する時は、何の薬であるか指差し、声だし確認をする。
- FAXで応需した処方せんは、処方せん原本と差し替える際にしっかり確認する。
- 自分以外の職員とチェックしてから作業にとりかかる。
- 投薬時に薬剤師が行っている確認と患者の確認の視点は同じとは限らないので気をつける。
- 「鑑査時も一度見ている」と安易な気持ちにならず、しっかりと確認する。
- 鑑査で確認をし、患者に渡す前に再度確認する。

#### (3) 配置の見直しに関するもの

- 類似薬に関しては、注意喚起のラベルを貼る。

### 4) 考 察

事例の内容が「薬剤取違い」として報告された事例181件のうち分析対象とした171件において、販売名の個別医薬品コード（YJコード）の先頭4桁以上が一致している医薬品は103件であった。

「漢方製剤」、「副腎皮質ホルモン製剤」、「その他の鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤」などの薬効に該当する医薬品の薬剤取違いが報告されたが、特に薬効の偏りは見られず、幅広い薬効の販売名において発生していた。また、安全管理が必要な医薬品であるハイリスク薬に該当する医薬品もあった。

## 5) まとめ

「薬剤取違い」として報告された事例181件のうち分析対象とした171件において、薬効が類似していた事例は103件であり、販売名における頭文字の2文字以上が一致している事例41件と比較して多かった。

「調剤指針」でも記載されているように、薬効が類似している医薬品のヒヤリ・ハット事例は調剤経験が少ない職員だけではなく、調剤経験が豊富な職員など、幅広い職員に見られる誤りであると考えられる。薬局からの改善策として報告されているように、間違えた場合においても別の職員が誤りを発見出来るように手順を見直すことが必要である。また、患者と共に薬を確認することに加えて、患者本人による薬の確認が出来るように、お薬手帳等に記載することも一つの方法である。

## 6) 参考資料

1. 財団法人日本医療機能評価機構 医療事故情報収集等事業「平成18年年報」
  - 薬剤に関連した医療事故に関する分析を行っており、その中で、効能の類似が原因と考えられる主な薬剤が報告されている。